



# その想い



第15号

発行人：谷泰智

R2年12月5日発行

## ★大和修験會での活動

今年も大和修験會の富士山での修行に温かいご声援を賜りまして誠に有難うございました。また、例年ご案内差し上げている特別祈願・回向に於きましては、このコロナ禍にありながら今までで最多のお申込を頂きましたこと、重ねて御礼申し上げます。

以前にもお伝えしておりますが、大和修験會とは、護国寺と宗派を同じくする宮崎県都城市龍禪院の宮元隆誠師が代表を務める、あくまでも有志の会であります。同じ聖護院門跡の末寺として地方から本山修験宗の活動を盛り立てていこうと地道な活動を続けています。

私は今回で4回目の参加となりましたが、この會を起された宮元先輩にとっては今回が丁度10回目の節目に当たり、昨年の修行を無事満行させていただいた直後から、我々はこの度の10回目を記念すべき登拝として心待ちにしておりました。

しかし、ご承知の通り世界的なコロナ禍の影響を受け、富士山も宝永の大噴火（1707年）以降初の閉山という行政措置となり、あえなく我々の想いが実現することは叶いませんでした。

けれども、富士の裾野を大きく回りながら、例年と同じ目的地である樹海を抜けた先の精進湖までの道中、我々は神仏の導きを認めざるを得ない、幾つもの誠に有難い感慨に出会うことができました。登拝は果たせずとも、「とにかく10年！」という信念を抱きながら、ひたすらに打ち込んでこられた宮元先輩に感化され、この私にも「地元高知で本山修験の修行を！」という発願が生まれています。



← 源頼朝が陣を張ったことに由来する陣馬の滝での滝行  
↓ 富士山の麓 興法寺大日堂にて特別祈願・回向の厳修



## ★日高村観光協会の自然体験メニュー

昨年の11月に開業5年にして100万人の来場者数を突破した村の駅ひだか。その村の駅ひだかに併設された日高村観光協会も発足してちょうど一年が経ちます。

現在、体験観光メニューとしては9種類が設けられており、特にその中の『説法体験』、『修行の一日体験』、『猿田洞ケイビング』の3つに私も一ガイドとして深く関わらせてもらっています。

『説法体験』は護国寺で仏教の話や人生相談等が体験できる内容で、『修行の一日体験』は村の駅ひだかから大滝山に登り、山頂付近を散策した後山道で猿田洞に至り、また村の駅ひだかまで戻ってくるという、通算12kmを歩くなかなかハードな修行体験です。

その他にも、『大野くわ製造見学』、『湿地帯散策』、『レンタサイクル』、『屋形船仁淀川』、『仁淀川SUP』、『霧山茶園』など、地元の方でも意外と見落としがちな魅力に溢れた体験観光メニューがありますので、是非お買物ついでに協会にもお立ち寄りください。😊